



ヴィーブル & コミュニティ 情報

月末休館日
ヴィーブルトレーニングルーム・
合志歴史資料館・合志図書館
4月30日(金)



平成22年度合志市高齢者大学募集

合志市高齢者大学では、さまざまな学習を通じて生きがいのある生活と仲間づくり、健康な心と体の維持・増進を目指しています。「ことぶき大学(御代志市民センター講堂)」と「高齢者教養講座(ヴィーブル文化会館)」の、2つの会場で開催しますので、最寄りの会場にご参加ください。いずれも、月1回の開催です。

	ことぶき大学	高齢者教養講座
開催場所	御代志市民センター講堂など	ヴィーブル文化会館など
開催日時	毎月1回(5月~3月)全11回 午前9時40分~11時30分	毎月1回(5月~3月)の全11回 午前10時~正午
参加資格	原則60歳以上の人	
参加費用	無料(ただし、研修旅行などは負担があります)	
申込方法	御代志市民センター窓口、電話、FAX、郵送	ヴィーブル窓口、電話、FAX、郵送
申込期限	4月22日(木)	
学習予定	市長講話、社会を明るくする運動講話、日帰り研修旅行、文化協会コンサート、健康講話など	
申し込み・問い合わせ先	御代志市民センター 生涯学習課 〒861-1104 合志市御代志1661-16 ☎242-1190・FAX 242-4896	ヴィーブル 生涯学習課 〒861-1116 合志市福原2922 ☎248-5555・FAX 248-5450

子どもフェスティバル開催

2月28日、ヴィーブル全館で「合志市子どもフェスティバル」が開催され、約1,800人の子どもたちが集まり、科学実験や工作、スポーツといった体験コーナーや子ども劇団公演などを楽しみました。

子どもフェスティバルは、市内の小・中学生から公募した実行委員らが、内容や実施方法などを考え、準備から当日の運営まで大人の協力を得ながら開催するイベントです。

多くの子どもたちが「楽しかった」「また参加したい」などと感想を述べていました。



チャレンジコーナーの空缶積み



子ども実行委員の皆さん

学校・家庭・地域で子どもを育てよう

3月4日、平成20年10月から文部科学省委託事業として学校支援地域本部支援事業を実施している合志南小学校で講演会と実践報告会が行なわれ、県内市町村から多くの先生やコーディネーターが参加しました。

地域をプロデュースする会社を営んでいる佐藤真一さんを講師に招き、「子どもが元気に魅力ある地域づくり」をテーマに講演が行なわれました。

また、実践報告会では南っ子支援ボランティアの会の池邊幸子コーディネーターから給食指導、登下校安全指導、南小フェスティバルなどボランティア活動についての報告があり、参加者から質問や課題などさまざまな意見交換が活発に交わされました。

この事業の趣旨である学校、家庭、地域がひとつとなって地域で子どもを育てる体制をつくり、ひいては地域を愛し、地域活性化に繋げようという気持ちが報告会や参加者の意見を通じて感じられる大会となりました。



佐藤真一さんの講演



活発な意見が出た実践報告会

市民 KOSHI CITY のひろば

受賞おめでとうございます

1月25日、東京都千代田区の文部科学省講堂で開催された平成21年度文部科学大臣優秀教員表彰式で、西合志南中学校の三嶋久美教諭が文部科学大臣賞を受賞しました。本市特別支援教育推進の功績が認められたものです。

三嶋教諭は剣道部の指導者としても高い指導力で、本市中学生を全国大会優勝に導いています。女性初の熊本県剣道連盟常任理事を務め、自身も剣道6段の腕前です。2月2日に市役所を訪問し、市長に受賞の報告を行いました。



市長に受賞報告をした三嶋教諭

春の風物詩 竹迫初市

竹迫地区に約250年前から伝わる春の風物詩「竹迫初市」が、2月28日に合志庁舎前の駐車場で開催され、多くの人で賑わいました。

名物のイモ天や地元農家の野菜の販売などが行なわれました。また、ボランティアバンド「丘リーナ」によるオカリナ演奏が披露され、暖かな日差しの中、会場を訪れた人は一足早く春の訪れを感じていました。



イモ天を買い求める来場者

農業者の仲間入り

3月5日、本市在住の新規就農者の激励会が市役所で行なわれました。今年度は小山和彦さん(北)、上野義博さん(後川辺)、佐々木博文さん(後川辺)、村岡俊英さん(黒石)の4人です。

式では、新規就農者が農業への抱負を語り、来賓の皆さんから激励の言葉が贈られました。また、市の農業を支えて地域に根ざした農業者になってもらうよう市からの奨励金が渡されました。



(写真左から)
新規就農者の小山さん、上野さん、佐々木さん、村岡さん

「恵風の森」記念植樹

3月8日、菊池恵風園で創立100周年を記念し、「恵風の森」づくりに向けた記念植樹があり、職員や入所者がクヌギやヤマザクラなど20本の樹木や苗木を植えました。同園では、職員から寄附を募り、春までに100本を植樹し、将来は「恵風の森」としたい意向です。

この日、参加した大住市長は「恵風の森が将来構想に掲げている地域との共生の場に広がっていくことを祈念します。」と述べました。



植樹を行なった大住市長と恵風園職員の皆さん

須屋コミュニティパトロール隊結成

須屋コミュニティ内の9つの自治会には、現在8つの自主防犯パトロール隊(約410人)があり、児童生徒の見守り活動など行なっています。パトロール隊員の高齢化、後継者不足など課題を抱えながら新たな取り組みを模索する中、平成21年度に県の事業である「安全なまちづくり推進モデル事業」を受託しました。

その中で、各地区の防犯パトロールをより効果的に行なうため「須屋コミュニティパトロール隊」(辻貞輝隊長)を結成しました。今後は、地域の自主防犯団体と連携を保ち、青色パトロール車4台での見守り活動や防犯パトロールを中心に活動します。

また現在、青色パトロール実施者講習を受講した

35人のパトロール実施者がいますが、既存の防犯団体も含めた新規隊員確保にも努めていく予定です。

2月21日、須屋市民センターで行なわれた出発式には、約40人の青色パトロール従事者などが参加。辻隊長が「犯罪の起こらない安全安心に暮らせるまちづくりの実現に尽力することを誓います。」と力強い誓いのことばを述べました。



青色回転灯がついたパトロール車での出発式